

U2-2024-

# 専門記述

## 試験問題

### 注意事項

- 問題は**5題**あります。受験する区分に応じ、次のとおり**1題**を解答してください。
  - **矯正心理専門職区分**  
【矯正心理専門職・問題】と表示されている問題(**1題**)を解答してください。  
なお、答案用紙の問題番号欄には、何も記入しないでください。
  - **法務教官区分、保護観察官区分**  
【法務教官、保護観察官・No. 1】～【法務教官、保護観察官・No. 4】の**4題**のうちから、**任意の1題**を選んで解答してください。  
なお、答案用紙の問題番号欄には、解答した問題の番号を記入してください。
- 解答時間は**1時間45分**です。
- 答案用紙の記入について
  - (ア) 答案用紙は1枚(両面)です。
  - (イ) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるよう訂正してください。
  - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
  - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
- この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
- 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
- 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

(矯正心理専門職区分)

**【矯正心理専門職・問題】** 次の 1 題を解答してください。

答案用紙の問題番号欄には何も記入しないでください。

## 【矯正心理専門職・問題】

以下の問いに答えなさい。

(1) うつ病に関する以下の問いに答えなさい。

- ① うつ病の主要な症状の一つには抑うつ気分があるが、このほかの主要な症状について、三つ簡潔に説明しなさい。
- ② うつ病に対する心理的介入について、行動療法的アプローチと認知療法的アプローチのいずれかを選び、(ア)そのアプローチが想定するうつ症状の維持メカニズム、(イ)そのアプローチがうつ症状にどのように作用しているかについて、それぞれ説明しなさい。

なお、解答に当たっては、いずれのアプローチを選んだのか明記すること。

③ うつ病の治療経過や予後を踏まえ、心理的介入を行う上で留意すべき点を説明しなさい。

(2) 次は、うつ病に対する心理的介入の効果を科学的に検証するために立てられた、ある研究計画である。この研究計画における問題点を二つ指摘した上で、それぞれの問題点に対する改善方法を説明しなさい。

<研究計画>

### 【目的】

うつ病に対する心理療法として、治療効果が実証されている従来の治療プログラムよりも、新たに開発された治療プログラム(以下、「Aプログラム」)の方が、治療効果が高いかどうか検証する。

### 【研究者】

X病院の精神科医B(研究参加者であるうつ病患者の主治医)

### 【研究参加者】

研究参加に同意した、X病院のうつ病患者とし、Aプログラムと従来の治療プログラムのいずれのプログラムを実施するかは、研究参加者の希望に応じて精神科医Bが振り分ける。

### 【治療効果の測定】

- ・時期：治療プログラムの終了から半年後
- ・方法：研究参加者の自己評価、精神科医Bによる評価(他者評定式のうつ病評価尺度)

### 【比較方法】

治療プログラム終了から半年後のAプログラムと従来の治療プログラムにおける研究参加者の自己評価得点及び精神科医Bによる評価得点の比較

(法務教官区分、保護観察官区分)

【法務教官、保護観察官・No. 1】～【法務教官、保護観察官・No. 4】の4題のうちから、任意の1題を選んで解答してください。

答案用紙の問題番号欄には、解答した問題の番号(1～4のいずれか一つ)を記入してください。

(心理学に関連する領域)

**【法務教官、保護観察官・No. 1】**

次の実験を読んで、L. フェスティンガーの認知的不協和理論に関する以下の問いに答えなさい。

<L. フェスティンガーとJ. M. カールスマスが行った実験>

著作権の関係のため、掲載できません。

- (1) この実験について、なぜこのような結果になったのか、以下の  中の用語を全て用いて、認知的不協和理論の観点から説明しなさい。

なお、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

一貫性、不快、不協和の低減

- (2) 認知的不協和を低減するための具体的な方略について、以下の三つの観点から説明しなさい。  
なお、解答に当たっては、日常生活における認知的不協和状態の具体例を挙げながら説明すること。

<観点>

①認知の変化、②行動の変化、③新たな情報への選択的接触

- (3) L. フェスティンガーは認知的不協和理論の観点からこの実験を解釈したが、D. J. ベムは自己知覚理論でこの実験を解釈できるとした。この実験に対する自己知覚理論による解釈とはどのようなものか説明しなさい。

(教育学に関連する領域)

**【法務教官、保護観察官・No. 2】**

学校教育法の定める児童生徒・学生に対する体罰及び懲戒に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) 学校教育法の定める児童生徒・学生に対する体罰及び懲戒について、両者の違いに触れながら説明しなさい。
- (2) (1)を踏まえ、学校教育における体罰の防止のためにどのような取組や対策が考えられるか、具体的に論じなさい。

(福祉に関連する領域)

**【法務教官、保護観察官・No. 3】**

ノーマライゼーションに関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) ノーマライゼーションの理念及びその発展過程について、以下の  中の用語を全て用いて説明しなさい。

なお、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

バンク＝ミケルセン、ニリエ、障害者の権利宣言、国際障害者年

- (2) 次の事例を読んで、以下の問いに答えなさい。

Aさん(23歳)は、高校在学中に統合失調症の診断を受け、以後、入退院を繰り返していた。母親と二人で暮らしていたところ、精神症状が悪化し、自宅に火をつけたことで逮捕された。Aさんには母親以外に頼れる親族等の存在はない。

- ① Aさんが受ける処分等として考えられるものを挙げ、その理由を説明しなさい。  
② ①の処分等を受けて、今後、Aさんに対してどの機関がどのように関わることになるか、ノーマライゼーションの観点から検討して具体的に説明しなさい。

なお、①で処分等を複数挙げた場合は、そのうちの一つについて説明すること。

(社会学に関連する領域)

**【法務教官、保護観察官・No. 4】**

R. K. マートンが提示し、又は発展させた概念に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) 予言の自己成就(自己成就的予言)について、具体的な事例を挙げながら説明しなさい。
- (2) 準拠集団について、少なくとも以下の四つの観点から説明しなさい。

< 観点 >

①定義、②所属集団と非所属集団、③規範的機能と比較機能、④意義や有効性